



FRBの早期利下げ観測、堅調な企業業績などが国内の株価を支え (図表1)

23年12月の国内株式相場は日経平均株価が22円72銭安と小幅ながら下落しました。米連邦準備理事会 (FRB) の早期利下げ観測が台頭する一方、日銀が大規模金融緩和の維持を決めたことで市場に買い安心感が広がり、株価は上昇。23年度から24年度にかけて最高益更新が見込まれる国内主要企業の堅調な業績も、株価を下支えしました。ただし、日米長期金利差の縮小に伴う円高・米ドル安の進行を受けた輸出関連銘柄への売りが相場の重荷となりました。

米長期金利の低下などを背景にNYダウは史上最高値を更新 (図表2)

米連邦準備理事会 (FRB) は12月の米連邦公開市場委員会 (FOMC、12~13日) で3会合連続で政策金利を据え置き、24年に利下げに転じるとの予想を示しました。これを受け、米国の10年国債利回りは4.0%を割り込み、株価はハイテク株主導で上昇が継続。NYダウは12月末にかけ、週間で9週連続上昇し、史上最高値を更新しました。24年も米国の低インフレと緩やかな景気拡大が株価の上昇を支えると見込まれます。

中国の製造業PMIは3カ月連続で50割れ。中国政府は積極財政強化へ (図表3)

中国国家統計局が発表した23年12月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は49.0となり、好調・不調の節目である50を3カ月連続で下回りました。GDP (国内総生産) の約3割を占める不動産市場の低迷に伴う需要不足や広い地域での降雪などが影響したようです。中国政府は23年12月に開催した中央経済工作会議で、「サプライチェーン (供給網) をより強靱化する」と表明。積極財政を強化する方針を確認しました。

ECBの大幅利下げ観測を背景にドイツの長期金利が低下、株価は上昇 (図表4)

欧州中央銀行 (ECB) は12月14日に開催した政策理事会で、政策金利を2会合連続で据え置くことを決定しました。インフレの鈍化やドイツを中心とする景気の減速を踏まえた措置です。これに先立ち、金融市場ではECBが24年春から大幅な利下げに踏み切るとの観測が広がり、ドイツの10年国債利回りが急速に低下。ドイツの主要な株価指数であるDAX (ドイツ株価指数) が約4カ月ぶりに史上最高値を更新しました。

日米金利差縮小で円高・米ドル安が進行。24年も金融政策の方向性に注目 (図表5)

FRBの早期利下げ観測の台頭を受け、米国の10年国債利回りは12月に4.0%割れまで低下。これに伴う日米金利差の縮小により、外国為替市場では円高・米ドル安が進みました。日銀が12月の金融政策決定会合で大規模金融緩和を維持し、円高の進行は一服しましたが、24年は為替動向を見るうえで、引き続き主要中央銀行の金融政策が注目されます。

今後のグローバル・マーケットのポイント

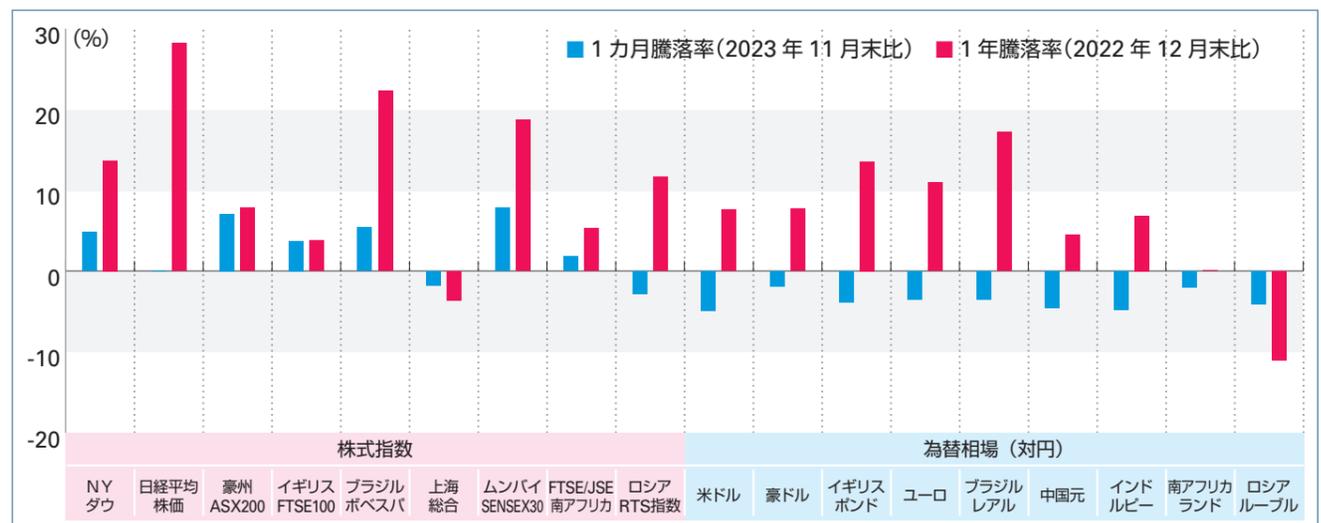
- 原油価格は、追加減産を巡る主要産油国の足並みの乱れなどにより、12月はWTI先物で一時1バレル70ドルを割り込みました (図表6)。しかし、紅海の情勢緊迫化などにより、再び同水準を回復。一方で、世界景気の減速に伴う需要減退懸念も根強く、注視が必要です。
- 国際指標となるNY金先物価格は上昇が続き、12月には約3年4カ月ぶりに史上最高値を更新し、1トロイオンス2100ドルを突破しました (図表6)。米国の長期金利が急速に低下するなか、所有しても利子が付かない金の相対的な投資妙味が増えています。

その他の主なリスク

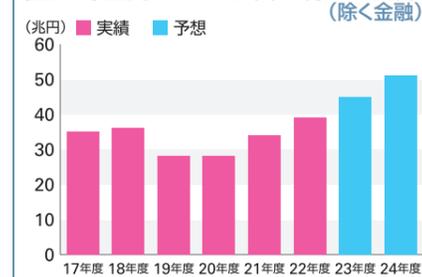
- ①世界的な紛争拡大の可能性……台湾海峡の緊張、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、パレスチナでの戦闘勃発に加え、紅海でもイエメンの親イラン武装組織フーシが米軍と交戦するなど、世界的に紛争が拡大することが懸念されます。
- ②世界的な景気後退……世界景気は、米国を中心に低インフレと緩やかな景気拡大が継続するとの見方が金融市場で大勢を占めますが、中国の景気は低迷しており、ユーロ圏の景気もドイツを中心に回復が遅れています。世界的に景気が後退局面を迎えるリスクにも引き続き警戒していききたいと思います。

株式・外国為替相場の騰落率

出所：各種データを基にQUICK作成 ※日経平均株価の著作権は日本経済新聞社に帰属します。※株価指数は現地通貨ベース (ロシア RTS 指数は米ドルベース)。



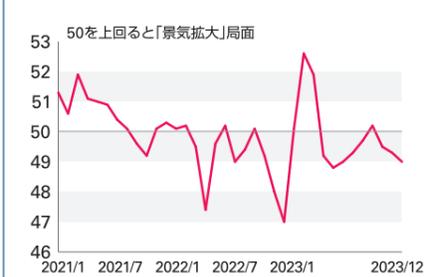
(図表1) 国内主要企業 営業利益の合計 (除く金融)



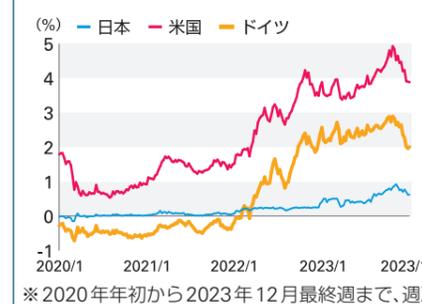
(図表2) 米国の主要株価指数



(図表3) 中国の製造業購買担当者景気指数



(図表4) 日米独の10年国債利回り



(図表5) 米ドル・円レートと日米長期金利差



(図表6) 原油先物と金先物価格



出所：(図表1)各社決算資料(図表2、4、5、6)QUICK Workstation(図表3)中国国家統計局統計よりQUICK企業価値研究所作成
注記：(図表1)QUICK企業価値研究所が選定した代表的銘柄を連結ベースで集計、予想は同研究所

イベントスケジュール

出所：各種資料よりQUICK作成 ※各日程は変更の可能性あり。

国内	海外
24年11日	米国23年12月消費者物価指数 (CPI)
1月13日	台湾総統選・立法委員選挙
15日	世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議) (スイス、1月19日まで)
22日	日銀金融政策決定会合 (1月23日まで)
25日	ECB政策理事会 米国23年10~12月期GDP (速報値)
28日	フィンランド大統領選
30日	米国FOMC (1月31日まで)
2月2日	米国24年1月雇用統計
10日	中国春節 (旧正月、2月17日まで)
13日	米国24年1月消費者物価指数 (CPI)
14日	インドネシア大統領選・総選挙
15日	23年10~12月期GDP (1次速報)
19日	23年12月機械受注統計

